

第68回東日本実業団陸上競技選手権大会

【出場結果】

実施日：5月15日（金） 1500m 10000m

5月17日（日） 5000m

会場：NDソフトスタジアム山形

出場者：坪井 響己 救仁郷 弓輝 下田 大翔

出場種目・出場者・リザルト

氏名	救仁郷	坪井	下田	救仁郷
種目	1500m	10000m	5000m	5000m
組	1組目	1組目	2組目	2組目
タイム	4'00"19	31'19"43	14'51"70	14'59"69
順位	3/14	28/29	15/24	18/24

【レポート】

今年度の東日本実業団陸上競技選手権大会は、4年振りの地方開催となり、山形県天童市のNDソフトスタジアム山形で行われ、当社からは前半シーズンのチーム目標レースとして、3名の選手が出場しました。

初日に開催された1500mは、全2組のタイムレースで順位が争われ、1組目にエントリーされた救仁郷は3分台を目標にレースに出場しました。

レースは1周64秒程の比較的ゆったりとしたペースながら、救仁郷は集団の後方に位置し、2周目になると先頭の選手が一気にペースアップして独走態勢となり、救仁郷も中盤以降は、ペースアップして順位を上げながら目標とする3分台を目指してラストスパートをかけたものの、目標には僅かに届かずに4分0秒台でのゴールとなりました。



専門外の種目にも果敢にチャレンジする救仁郷

続いて 10000mは 1 組のみで行われ、坪井がレースに臨みましたが、出場した選手は外国人選手含め、ほぼ 28 分台の記録を持つ選手がエントリーしており、スタートから 2 分 50 秒/kmを切るハイペースでレースは進みました。

坪井は集団の最後方に位置してレースの流れに乗りますが、2000m 過ぎたところで表情にも余裕がなくなり、集団からは離れる展開に。

単独走となる中、5000mを 15 分 3 秒台で通過したものの、7000m過ぎから更にペースが落ち込み 31 分 19 秒台でのゴールとなりました。

坪井は今年度に入り、コンディションを整えるのに苦心しており、今回のレースも課題が残る結果に終わりました。



先頭集団のハイペースにつけず、終盤は苦しい走りとなった坪井

大会 3 日目の最終日には、5000mが全 4 組のタイムレースで行われ、当社からは 2 組目に救仁郷、下田の 2 名が出場、強い日差しが降り注ぐ厳しい暑さ中でのレースとなりましたが、勢いのある 2 年目コンビに期待が高まります。

レースは 2 分 50 秒/km で進み、下田は先頭集団の前方、救仁郷は後方に位置取りし、中盤以降の走りがポイントになると見ていましたが、2000m過ぎたところで、救仁郷が集団から離れ、3000m 手前で下田も集団から遅れ始めました。

二人とも想定以上に早い段階で単独走となってしまい、中盤以降は下田、救仁郷ともに走りのリズムが乱れ、下田は 14 分 51 秒台、救仁郷は 14 分 59 秒台でのゴールとなりました。

厳しい気象コンディションではありましたが、チームの主力選手が強化実業団チームの選手に全く歯が立たない悔しい結果となりました。



早い段階で先頭集団から離れる救仁郷



序盤から攻めた走りは見せるも悔しさの残った下田

【総括】

本大会は、シーズン前半の目標に位置付けていたレースでしたが、出場者が3名に留まり、故障者の多さや体調不良等による準備不足など様々なチーム課題を抱えての出場となりました。

出場した坪井、下田、救仁郷はいずれもチームの主力選手として、東日本実業団に所属の強化実業団チームに対し、どこまで戦えるかをテーマとしてレースに挑みましたが、全く勝負が出来ず、チームの置かれている現状の厳しさを突きつけられる結果となりました。

本大会は手応えの無い、悔しさだけが残ったレースとなりましたが、今回のレースをチーム全体の反省材料として向き合った上で、次の目標に向かって活動を継続して参ります。

引き続き、皆さまの温かいご声援を宜しくお願いいたします。